

# 第57回 試験研究成果発表会(野菜Ⅳ)

千葉県では、農林水産業に関する最新の試験研究成果を広く関係者の皆様にお知らせするとともに、皆様からの声を今後の研究に反映させるため、各部門・地域で成果発表会を開催します。

参加は無料で、事前申し込みも不要です。お気軽にご来場ください。

※ 座席数には限りがあるため、当日先着100名様とさせていただきます。



詳細はこちらから

**日時: 令和2年1月24日(金) 10:30 ~ 16:45**

**会場: 農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 会議室  
(香取市大根 1285)**

## 【プログラム】

発表1 (10:40 ~ 11:05)

**自走式ハーベスタによる収穫に適したヤマトイモの高畝栽培法**

畑地利用研究室 田村 創

発表2 (11:05 ~ 11:30)

**ヤマトイモの根部障害低減のための輪作作物と耕種的対策**

土壌環境研究室 岩佐 博邦

発表3 (11:30 ~ 11:50) (情報提供)

**いも形状が優れる「ベニアズマ」ウイルスフリー新系統「系14-26」の特性**

畑地利用研究室 田村 創

— 休憩 —

発表4 (13:30 ~ 13:55)

**ニンジン黒ずみ症の発生要因と軽減技術**

畑地利用研究室 山下 雅大

発表5 (13:55 ~ 14:20)

**ニンジン乾腐病の発生生態及び防除技術の確立**

病理昆虫研究室 青木 由

発表6 (14:20 ~ 14:45)

**ニンジンしみ腐病の圃場汚染程度の評価と耕種的な低減対策技術**

東総野菜研究室 中村 耕士

— 休憩 —

発表7 (15:00 ~ 15:25)

**ニンジンエクボ症の発生要因と軽減技術**

畑地利用研究室 山下 雅大

発表8 (15:25 ~ 15:45) (情報提供)

**ヒョウタンゾウムシを増やさない緑肥作物がわかりました**

研究マネジメント室 大井田 寛

発表9 (15:45 ~ 16:10)

**秋冬ニンジン作への緑肥導入による経営持続効果**

研究マネジメント室 溝田 俊之

発表10 (16:10 ~ 16:35)

**緑肥作物の上手な活用方法—緑肥作物の分解特性と後作物の播種可能時期—**

土壌環境研究室 岩佐 博邦

発表11 (16:35 ~ 16:40) (情報提供)

**土づくりのすすめ**

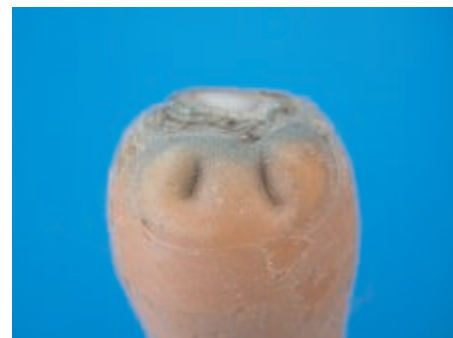
安全農業推進課 肥料・農薬班 佐久間 真由子



ヤマトイモの高畝栽培



サツマイモ有望系統「系14-26」



ニンジンエクボ症

## 【会場のご案内】

(千葉方面から車でお越しの場合)

1. 東関東自動車道大栄IC下車、助沢で左折し、県道16号を北上する。  
大栄ICから15分
2. 東関東自動車道佐原香取IC下車、佐原方面に左折し、県道16号を左折、八日市場方面に南下する。佐原香取ICから20分

(電車でお越しの場合) JR成田線佐原駅からタクシーで約15分。

## 【お問い合わせ先】

千葉県農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 畑地利用研究室  
電話番号 0478-59-2200

